



XRF Reader V3.9 インストールガイド



目 次

1. インストールの前に	1
1.1 動作環境.....	1
2. XRF Readerのインストール	2
3. XRF Readerのアンインストール	8
4. XRF Readerのバージョンアップ	9
5. XRF Readerを動作させる場合の注意点	10
6. サイレントインストール	11
6.1 サイレントインストールについて	11
6.2 issファイルの作成方法.....	11
6.3 サイレントインストールの実行	11

■商標について

XRFは、株式会社ユニリタの商標または登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. インストールの前に

1. インストールの前に

1.1 動作環境

CPU	1 ギガヘルツ (GHz) 以上のプロセッサ
OS	Windows 10 (64bit) Windows 11 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2022 (64bit)
メモリ	512MB以上
ハードディスクの空き容量	インストール時 100 MB

※OS提供元のサポートが終了した時点で、製品における当該OSのサポートも終了となります。

※OSのマイナーバージョン・サービスパックについて、OSが互換性を保証している場合はXRF製品も自動的に動作保証します。

● 運用上の注意

帳票の作成、描画、印刷など、運用によっては、大容量のハードディスク及びメモリを必要とします。

以下に、大容量ファイルを生成・印刷した場合のハードディスク使用量の目安を示します。この値を参考に、十分なハードディスク容量を確保して運用してください。

大容量ページのXRFファイルを印刷する場合の目安値

XRFのページ数	一時ファイルのサイズ	スプールデータのサイズ
1万ページ	約30～70MB	約150～350MB
10万ページ	約300～700MB	約1.5～3.0GB

※ プリンタの機種によって、スプールデータのサイズは大きく異なります。予め、ご利用のプリンタで確認の上、運用して頂くようお願いいたします。

※ XRFファイル内のフィールド数・画像データ数が多い場合はスプールデータのサイズが目安よりも大きくなります。また、透過処理をした画像や色の透過設定を使った場合、色の変更や塗りつぶしなどを多く行った場合も同様です。



スプールデータサイズが大きくなるオブジェクト処理例

2. XRF Readerのインストール

インストールは以下の手順で行います。

- OSへのログイン

管理者権限でWindowsへログインしてください。XRF Readerのインストール作業は、必ず、インストールするマシンへの管理者権限を持つユーザが行ってください。

- バージョンアップの場合

旧バージョンのXRF Readerがインストールされている環境では、旧バージョンをアンインストールしてから本バージョンのXRF Readerをインストールしてください。

旧バージョンをアンインストールするときに、AppData ローミングサブフォルダの XRF Reader フォルダを手動で削除してください。

AppData ローミングサブフォルダは以下の手順でアクセスできます。

1. 「Windowsキー」 + 「R」を同時に押して、「ファイル名を指定して実行」のダイアログを開きます。
2. 「%appdata%」と入力し、Enterを押します。

なお、XRF V3.6.11より前 (V3.6.11を含まない) の旧バージョンからのバージョンアップの場合は、『4. XRF Readerのバージョンアップ』を参照して設定ファイルの移行を実施してください。

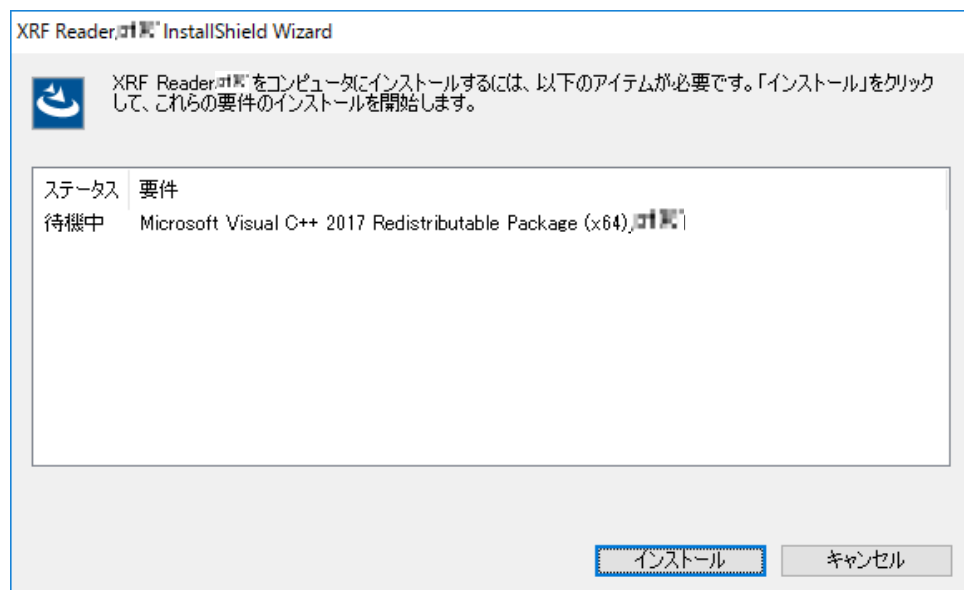
手順1. CD-ROMのセット

XRF Reader CD-ROMをCD-ROMドライブへ挿入します。

手順2. インストーラの起動

エクスプローラーでCD-ROMの内容を表示し、setup (setup.exe) をダブルクリックします。

次の画面が表示されます。

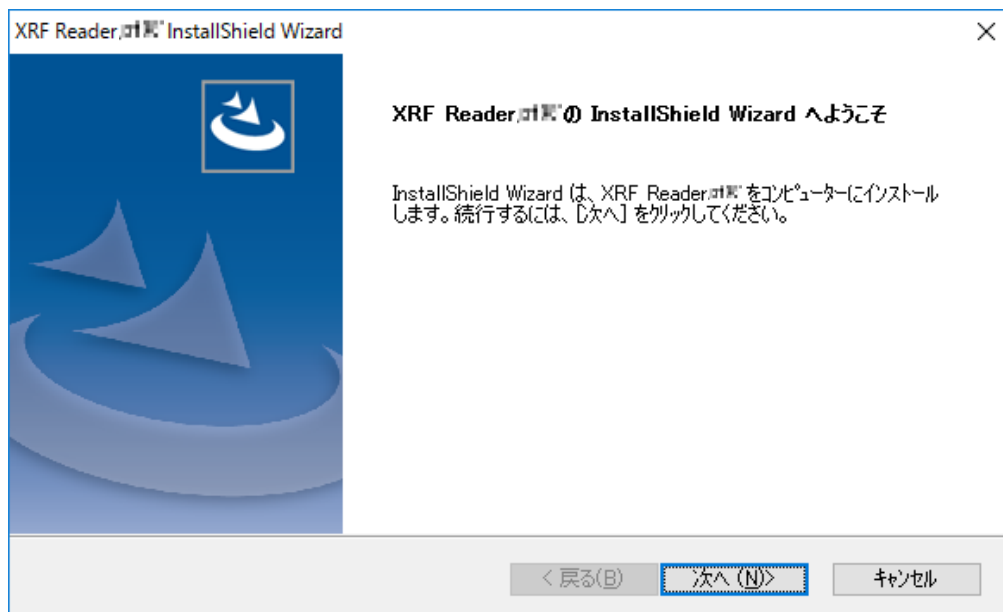


<インストール>をクリックし、「Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable Package (x64)_{バージョン番号}」をインストールします。

2. XRF Readerのインストール

手順3. XRFのインストールの開始

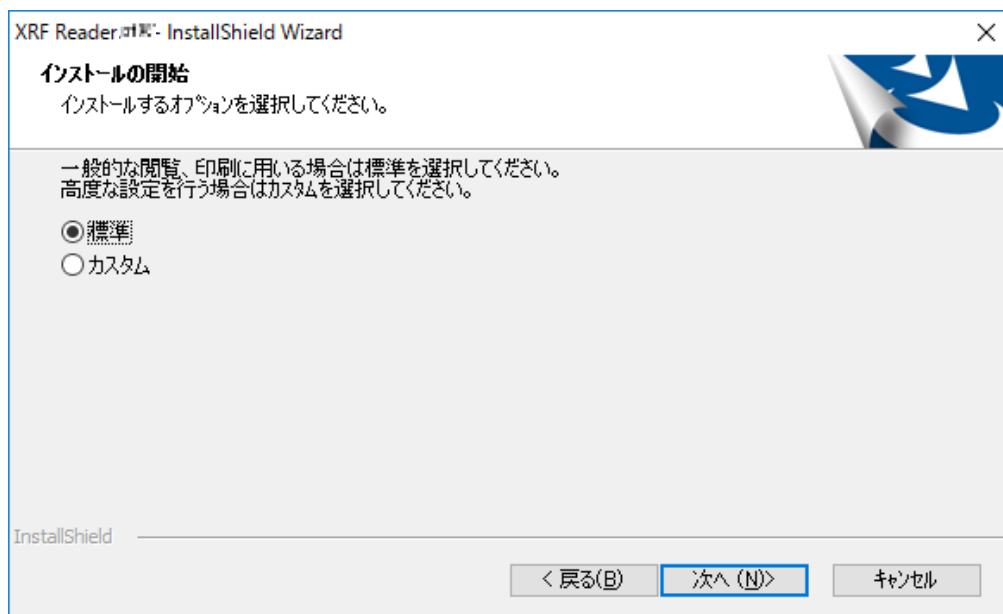
次の画面が表示されます。



<次へ>をクリックします。

製品ライセンス契約が表示されるので、ご一読の上、同意される場合は<はい>をクリックしてください。同意されない場合は<いいえ>をクリックしてインストールを中止してください。

手順4. インストールオプションの選択



インストールオプションを選択します。通常の閲覧や印刷に使用する場合は「標準」を選択します。高度な設定を行う場合は「カスタム」を選択してください。

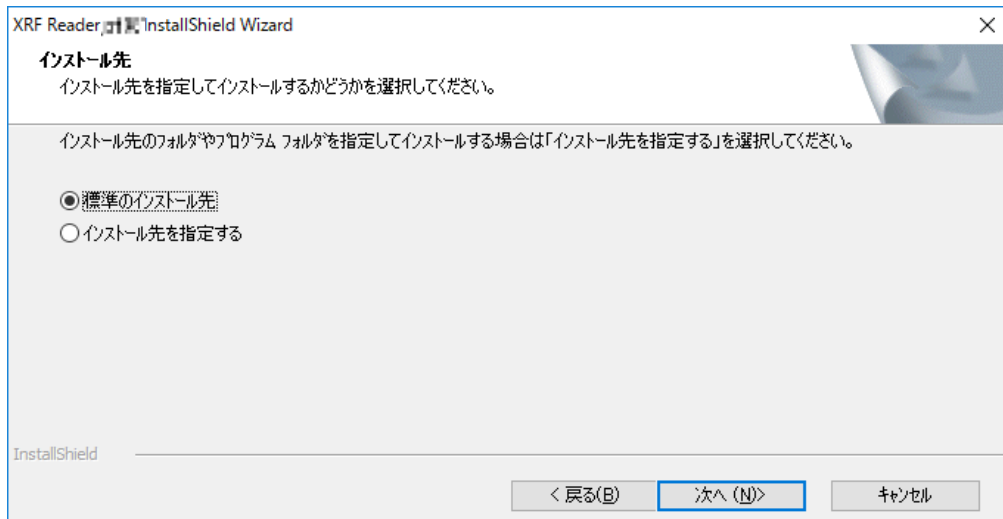
設定内容を確認して<次へ>をクリックします。

「標準」を選択した場合は、手順12に進みます。

「カスタム」を選択した場合は、手順5に進みます。

2. XRF Readerのインストール

手順5. インストール先の選択



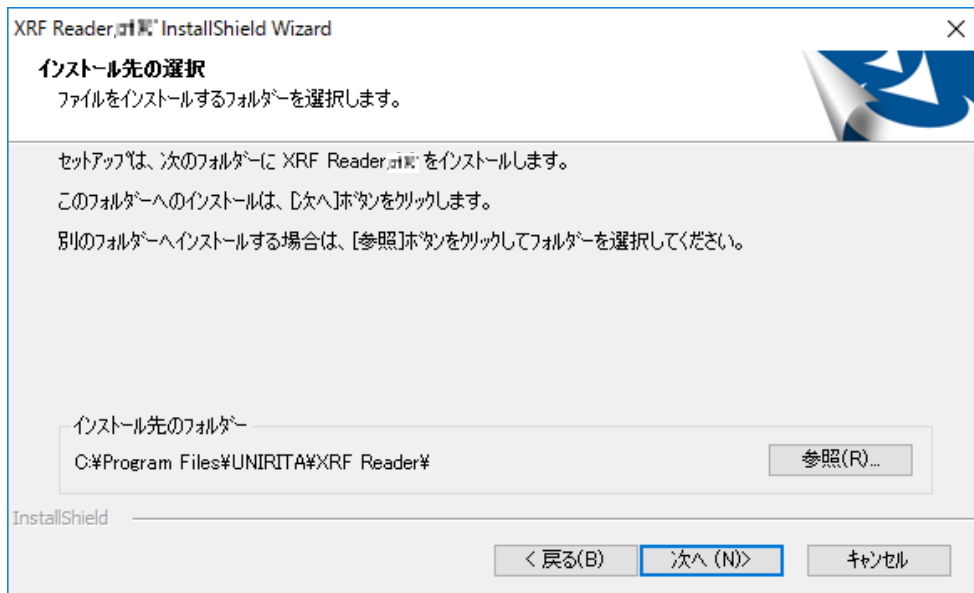
標準のインストール先へインストールする場合は「標準のインストール先」を選択します。任意のフォルダにインストールする場合は「インストール先を指定する」を選択してください。

設定内容を確認して<次へ>をクリックします。

「標準のインストール先」を選択した場合は、手順8に進みます。

「インストール先を指定する」を選択した場合は、手順6に進みます。

手順6. インストール先フォルダの設定

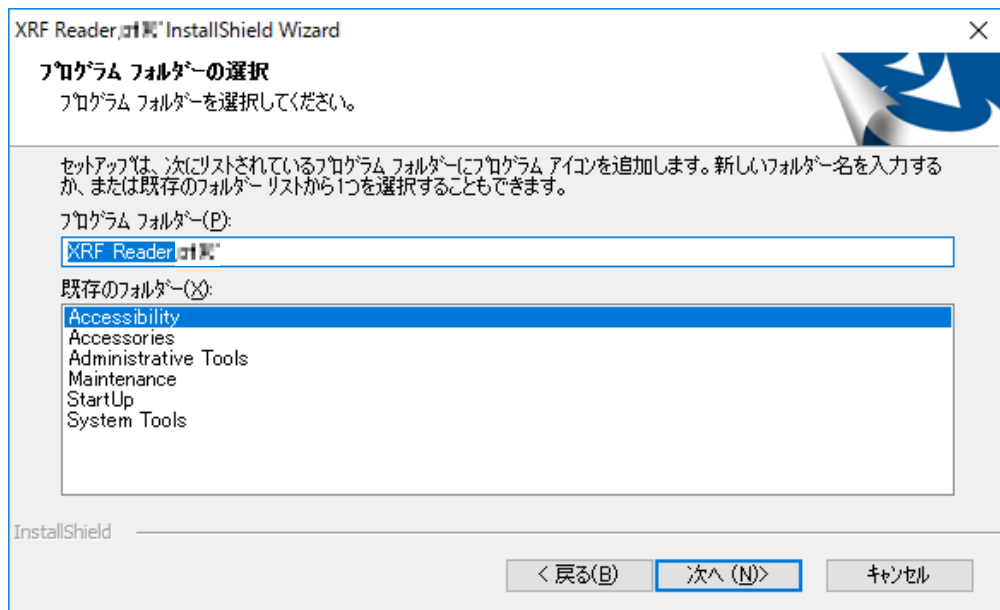


<参照>をクリックして表示されるディレクトリの選択ダイアログからフォルダを指定します。

インストール先のフォルダを確認して<次へ>をクリックします。

2. XRF Readerのインストール

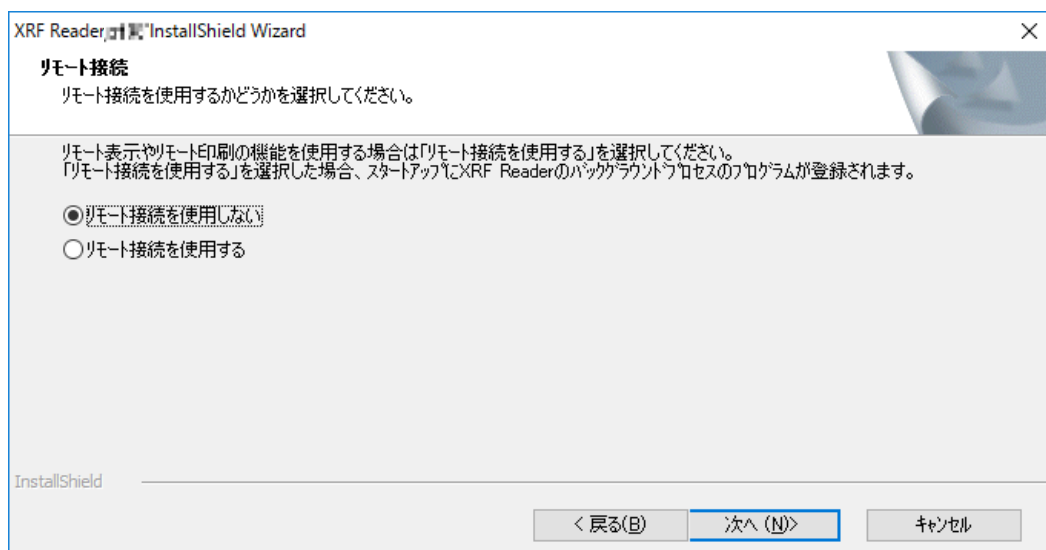
手順7. プログラムフォルダの設定



プログラムフォルダを変更する場合は、テキストボックスのフォルダ名を編集します。

プログラムフォルダを確認して<次へ>をクリックします。

手順8. リモート接続の設定



XRFでは、サーバ製品（ライブラリ）であるXRF ComposerからXRF Readerに対し処理要求を行う「リモート処理機能（XRF Remote Launch Broker）」を提供しています。リモート処理機能を利用する場合は「リモート接続を使用する」を選択します。この設定を行うとXRF Readerはスタートアップに登録され、リモート接続（XRF Composerからの接続）が許可されるようになります。

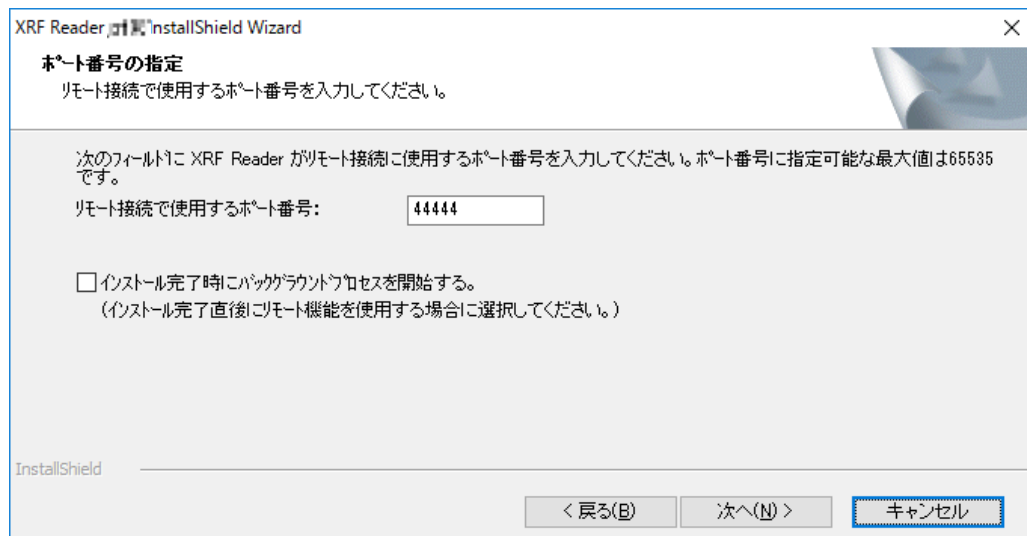
設定内容を確認して<次へ>をクリックします。

「リモート接続を使用しない」を選択した場合は、手順10に進みます。

「リモート接続を使用する」を選択した場合は、手順9に進みます。

2. XRF Readerのインストール

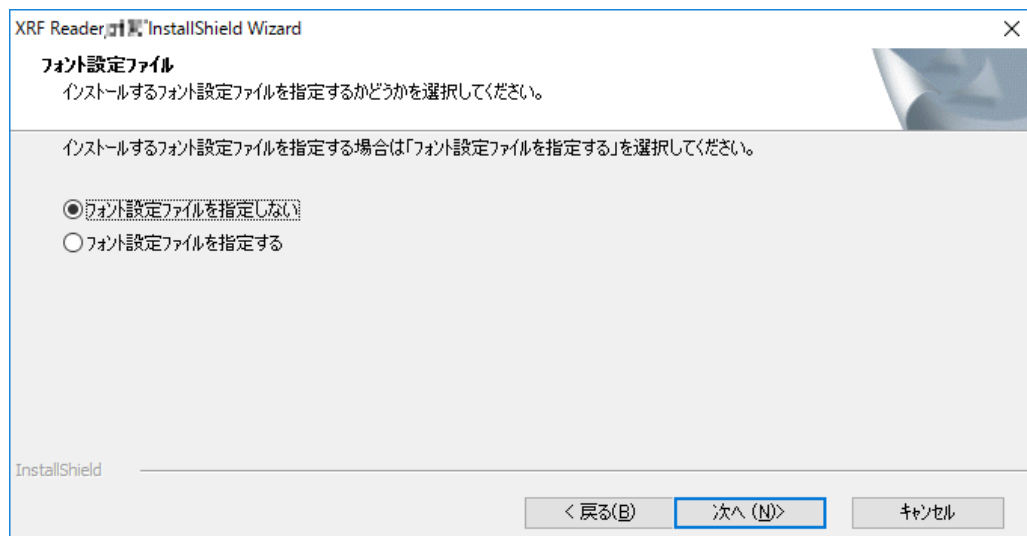
手順9. ポート番号の指定



インストール完了直後にリモート機能を使用する場合は、「インストール完了時にバックグラウンドプロセスを開始する。」にチェックを入れてください。

リモート接続で使用するポート番号を入力して<次へ>をクリックします。

手順10. フォント設定ファイルの設定



XRF Readerではフォント設定ファイル (fontNamesInfo.xml) によりアプリケーションで使用するフォントを管理します。独自に定義したフォント設定を使用する場合には、「フォント設定ファイルを指定する」を選択してください。

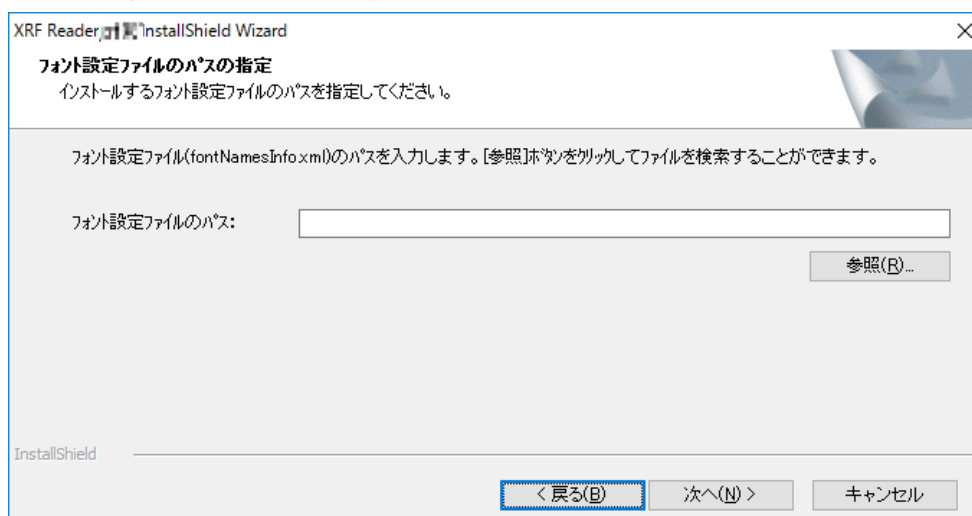
設定内容を確認して<次へ>をクリックします。

「フォント設定ファイルを指定しない」を選択した場合は、手順12に進みます。

「フォント設定ファイルを指定する」を選択した場合は、手順11に進みます。

2. XRF Readerのインストール

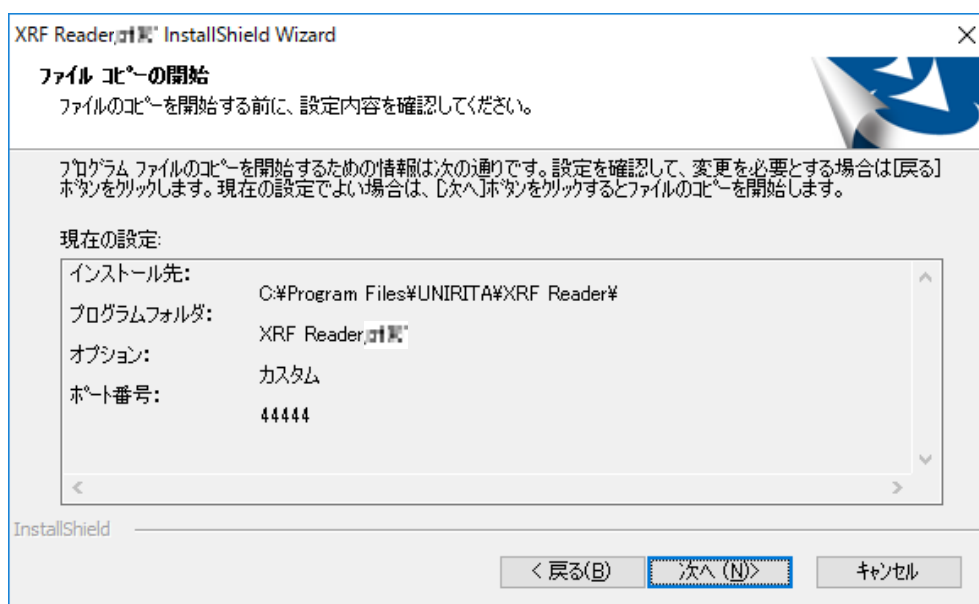
手順11. フォント設定ファイルのパスの指定



<参照>をクリックして表示されるディレクトリの選択ダイアログからフォント設定ファイルを指定します。

フォント設定ファイルのパスを確認して<次へ>をクリックします。

手順12. 設定内容の確認



設定内容を確認する画面が表示されます。設定内容を確認して<次へ>をクリックします。

以降は、インストールプログラムの表示するメッセージにしたがって、インストールを完了してください。

3. XRF Readerのアンインストール

手順1. アプリケーションの停止

1. 「スタート」 ボタンをクリックします。
2. 「すべてのアプリ」、「XRF Reader 3.9」の順にクリックします。
3. 「XRF Readerプロセスの終了」をクリックします。

手順2. コントロールパネルの起動

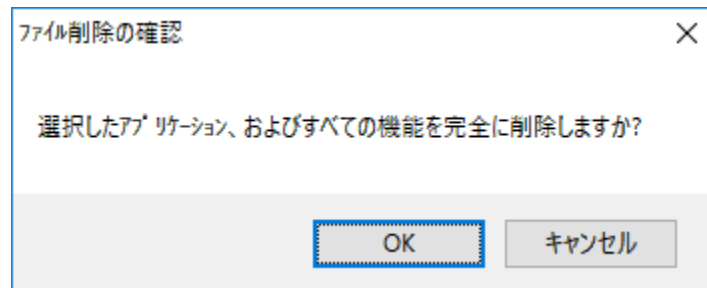
「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」をクリックして起動します。

手順3. アプリケーションのアンインストールまたは変更

「XRF Reader 3.9」を選択して、ダブルクリックします。

手順4. 削除の確認

次のダイアログが表示されます。



<OK>をクリックすると、アンインストールが実行されます。

<キャンセル>をクリックすると、アンインストールを中止します。

4. XRF Readerのバージョンアップ

XRF Reader V3.6.11より前（V3.6.11を含まない）のバージョンから本バージョンへバージョンアップする場合には設定ファイルの移行が必要となります。以下の手順にしたがって移行をしてください。

- XRF Reader 旧バージョンでの作業（バージョンアップ前）

- ① 以下の設定ファイルを任意の場所にバックアップします。

%ALLUSERSPROFILE%\XRF Reader¥conf¥fontNamesInfo.xml

%ALLUSERSPROFILE%\XRF Reader¥conf¥trayNameNumber.xml

- 『XRF Readerインストールガイド』（本書）の記述に従い、XRF Readerの旧バージョンをアンインストールおよび本バージョンのインストールを行ってください。

XRF Readerをアンインストールで削除した結果、XRF Readerのインストールディレクトリに不要なファイルやディレクトリが残る場合がありますので、手動で削除してください。

- XRF Reader 本バージョンでの作業（バージョンアップ後）

- ① バージョンアップ前の作業手順①でバックアップした設定ファイルを下表のコピー先へ配置します。

ファイル名	説明	コピー先
fontNamesInfo.xml	フォント設定ファイル	%ALLUSERSPROFILE%\XRF Reader ¥conf
trayNameNumber.xml	トレイ名 番号対応表の定義ファイル	%ALLUSERSPROFILE%\XRF Reader ¥conf

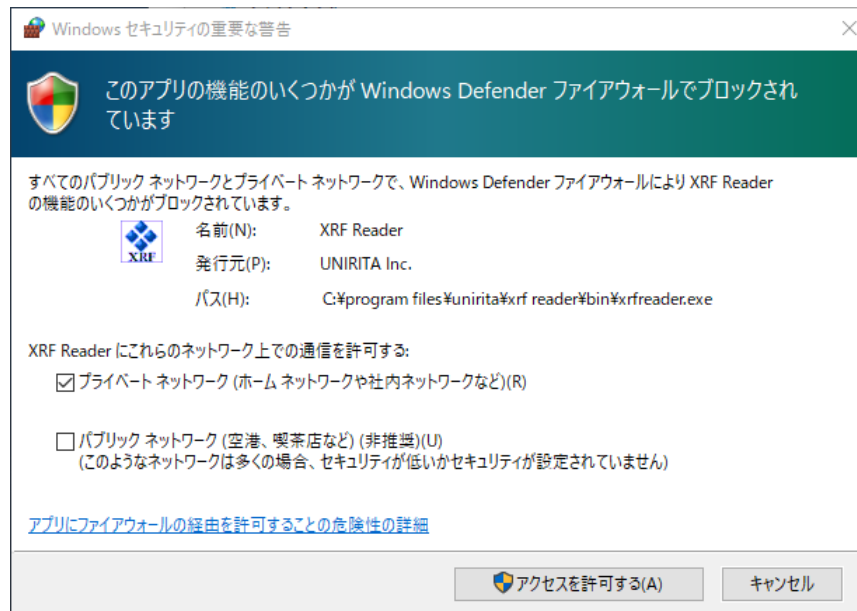
※ 表中の環境変数「%ALLUSERSPROFILE%」で表記しているアプリケーションデータフォルダ等は、Windowsプラットフォームにより異なります。

5. XRF Readerを動作させる場合の注意点

5. XRF Readerを動作させる場合の注意点

環境によってはXRF Readerを初回起動時に、Windows ファイアウォールにより下記のセキュリティの警告メッセージが表示される場合があります。

※Windows10の場合



この場合<アクセスを許可する>をクリックし、XRF ReaderのプログラムをWindows ファイアウォールのブロック対象から除外します。

もし、<キャンセル>を選択した場合は、XRF Composerからのリモート処理機能（XRF Remote Launch Broker）の接続は受け付けられなくなります。

初回起動時の1回のみでの設定で、次回起動からはこのダイアログは表示されなくなります。

6. サイレントインストール

6.1 サイレントインストールについて

サイレントインストールとは、インストールの際にユーザが設定項目を入力するのではなく、あらかじめ用意した応答ファイルと呼ばれるInstall Shield Silentファイル (.iss ファイル)から設定を読み込みインストールする方式のことです。サイレントインストールを使用することにより、複数環境に同じ設定でXRF Readerをインストールする場合の手順を簡略化できます。

サイレントインストールを行うには、まずissファイルを作成する必要があります。

6.2 issファイルの作成方法

- インストール用のissファイルの作成

1. 任意のローカルディレクトリへ製品メディアのファイル一式をコピーします。
ここでは C:¥temp へコピーするものとします。
2. コマンドプロンプト(cmd)を起動し、C:¥temp に移動します。
3. C:¥temp¥setup.exe -r -f1C:¥temp¥setup.iss
上記コマンドラインを実行し、インストールを実施します。
インストール手順は『2. XRF Readerのインストール』を参照してください。
4. インストール終了後、C:¥tempにsetup.issというissファイルが作成されます。

6.3 サイレントインストールの実行

1. サイレントインストールに必要なファイル（製品メディアのファイル一式、setup.iss、必要に応じて fontNamesInfo.xmlなど）をXRF ReaderをインストールしたいクライアントPCにコピーします。
ここでは、インストールするPCの C:¥temp へコピーするものとします。
インストールするPCにコピーせず、ファイルサーバの共有フォルダに必要なファイルを置いてインストールをすることも出来ます。
2. コマンドプロンプト(cmd)を起動し、C:¥temp に移動します。
3. C:¥temp¥setup.exe -s -f1C:¥temp¥setup.iss -f2C:¥temp¥setup.log
上記コマンドラインを実行すると、サイレントインストールが実施されます。
C:¥temp¥setup.log の内容を参照し、インストールが成功していることを確認してください。

XRF Reader V3.9 インストールガイド

2024年4月 第1版

発行：株式会社ユニリタ

〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟

Copyright © 2024 株式会社ユニリタ

本書は著作権上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社ユニリタから文書による許諾を受けずに、いかなる方法においても複写・複製・転載することは禁じられています。

改良のため、製品の仕様やデザインは予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。